

幸せな人生とは、どのような人生を言うのでしょうか。
あなたは、今、幸せですか。あなたの幸福感を語ってみてください。

はい、私には、由緒正しき家柄いえがらがあります。
はい、私には、賢い頭かしこがあります。
はい、私には、健康な身体からだがあります。
はい、私には、美貌びぼうがあります。
はい、私には、お金かねがあります。
はい、私には、かけがえのない家族かぞがいます。
はい、私には、楽しい仲間とも達たちがいます。
はい、私には、やりがいのある仕事しごとがいます。
はい、私には、自分を打ち込めるものものがいます。
はい、私には、特別とくべつに何もありませんが、日々感謝かんしゃして暮くらしています。
生かされている喜びよろこびを感じています。

まだまだ他にもあるかもしれませんが、大体、幸せの基準は、このようなところでしょうか。重複ちゆうぶつしないと満足感まんぞくかんが得られない人もあれば、ひとつで十分に幸せだと思おもう人もいます。

人は、みんな幸せを求もとめています。
幸せになりたいという願望がんぼうがあります。

そして、幸せの基準は、人それぞれにあるというのが一般的ですが、本当の幸せを知っている人は、ほとんどいないというのが現実だと、私は思っています。

みんな、幸せになりたくて生まれてきます。しかし、幸せになれなくて死んでいくのです。

幸せになりたいのに、幸せになれなかった……。

幸せになるにはどうすればいいのか……。

何があれば、幸せになれるのか……。

心の疑問に答えるべく、人は、それぞれの条件に見合った環境を選んでき

ます。

自分の設定通り、幸せの条件を選んでいきます。

また、あるいは、あえてその条件を外して、環境を設定してくるかもしれません。やはり、そうではなかったことを確認するために……。

とにかく、自分の設定した中で、自分自身が演じていくわけです。人はみんな自分の中の思いを、自分の肉を通して表面に出してくるのです。

例えば、人生を芝居に見立ててはどうでしょうか。

人は、自分に芝居を書きます。そして、その芝居を演じているのは自分であり、その芝居を観ているのも自分です。

いわゆる自作自演のドラマを、自分自身が鑑賞しているというふうに、自分の今を眺めてみませんか。

自作自演の芝居のテーマは何か。

それは、幸せと喜びです。

いつも、そうなのです。幸せと喜びが永遠のテーマです。

そのテーマで、舞台設定を変えていくのは、何度設定を変えても、そのテーマをクリアできずにきたからです。

いつも観客から拍手喝采が受けられない役者は、何度も何度も厳しい稽古を重ねて、再び舞台に立つのです。

芝居は、ある時は大金持ちに生まれついたのに、最後は没落してしまうとか、ある時は美貌を振りまいて、蝶よ花よだったけれど、結局は、その美貌で身を滅ぼしていくとか、そして、ある時は……、というふうに、幾パターンもあり、その都度、涙と笑いの悲喜こもごも、盛りだくさんです。

そのように、今の自分の人生も、その中のひとつのパターンだと思えないでしょうか。

そして、芝居だから、楽しみながら続けていけばいいと思いませんか。一生懸命に、楽しみながら、千秋楽を迎えていけばいいのです。

ただし、どんなに一生懸命に演じ、また、楽しみながら演じていても、その芝居を通して伝える真のメッセージに行き着くまでは、残念ながら、カー